

ユニークなメンバーが奏でるハーモニー

市内を中心に活動するコーラス団体「S.Y.Domptious」。今年で結成11年目を迎え、8月に広島県で開催されたコーラスの全国大会に3度目の出場を果たしました。ちょっと変わったグループ名の由来や、歌うことの楽しさについて皆さんにお聞きました。

「とにかく楽しかった。家族も見に来てくれてうれしい。道中暑すぎたけど」
全国大会の大舞台での感想を語る皆さん。吉田児童センターの関係者を中心に2015年に結成しました。
『水曜どうでしょう』が最初の活動名。水曜に練習していたことから名付けました。でも、その名前で大会に出るのはちょっとね…
そこで、当初の名称の頭文字「S・Y・D」と、心もハーモニーもぴったり合わせたいという思いを込めた「どんぴしゃ」、そして「アンビシャス（野心的な）」の3つの言葉を融合。結成翌年に今のグループ名へと変更しました。

「歌うことが好き」を条件に声を掛けて市内外からメンバーを増やし、現在は30代から80代まで幅広い年齢層の18人で活動しています。ピアノ1人とコーラス17人。指揮者はいません。
「指揮者がいない分、お互いの息や声の響きを感じ取りながら歌っています。個性の強いメンバーだからこそ意見をぶつけ合い、表現を作り上げていく。難しくもあり、この活動の醍醐味でもあります」
現在は週2回、毎回2時間の活動ですが、大会前には丸一日練習することもあります。それでも家族の支えもあり、こまめに続けてこられたと笑顔で語ります。
「仕事をしながらも、この活動が最優先。歌がない人生は考えられません！」
「発表会後の打ち上げや、大会で県外へ行けるのも楽しみです」
今の目標は、来年、横浜市で開催される50回記念大会へ出場すること。早くも次の挑戦が始まっています。



エスワイド ン ビ シ ャ ス
S.Y.Domptious の皆さん

●第49回 全日本おかあさんコーラス全国大会出場



▲全国大会での歌声披露／画像提供：スタッフ・テス(株)



▲公民館でピアノの前に練習。曲に合わせて身体を動かしながら歌うこともあります。



▲大会などで身に着けるアクセサリはメンバーの手作り。

大ちゃんコラム

燕市長 佐野 大輔

「小さな大投手」

石川雅規さん

東京ヤクルトスワローズの石川雅規投手が先月、現役引退を発表されました。

石川さんからは2016年の初来燕以降、さまざまな連携事業を通じて燕市に関わっていただきました。とても温かい人で、小中学生を対象とした野球教室では、現役最年長投手でありながら、子どもたち全員のバッティングピッチャーを務めていただきました。さらに自ら提案して、200人を超える参加者全員にサインをしてくれた姿が今も印象に残っています。

野球が大好きで、誰にでも優しく接してくれた「小さな大投手」。燕市の子どもたちに夢と希望を与えてくださり、本当にありがとうございました。

車の買取りならお任せ!!

夢っくる分水店

有限会社 中野自動車商会

リサイクル・リユースを促進し、大切な資源に新しい命を吹き込むお手伝いをします。

乗らなくなったお車や故障車、お譲り下さい!!
燕市笈ヶ島 1259-1
tel.0120-559-154

イグジム

会員100名突破!
皆様の温かい応援に感謝です。
これからも一緒に頑張りましょう!



◀こちらは有料広告です。